

(1) 研究主題

『自らすすんで学習や活動にとりくむ生徒の育成』

～生徒一人ひとりの「関心・意欲・態度」を育てる～

(2) 主題・副題設定の理由

教育目標

高い知性と豊かな情操を持ち心身ともに
たくましい自主的創造性のある生徒の育
成

教育の今日的課題

- ・学校週5日制の実施に伴う学力低下不安
- ・学習意欲の二極化
- ・「生きる力」育成のための「確かな学力」「豊
かな心」「健康な身体」
- ・いじめ問題
- ・中一プロブレム

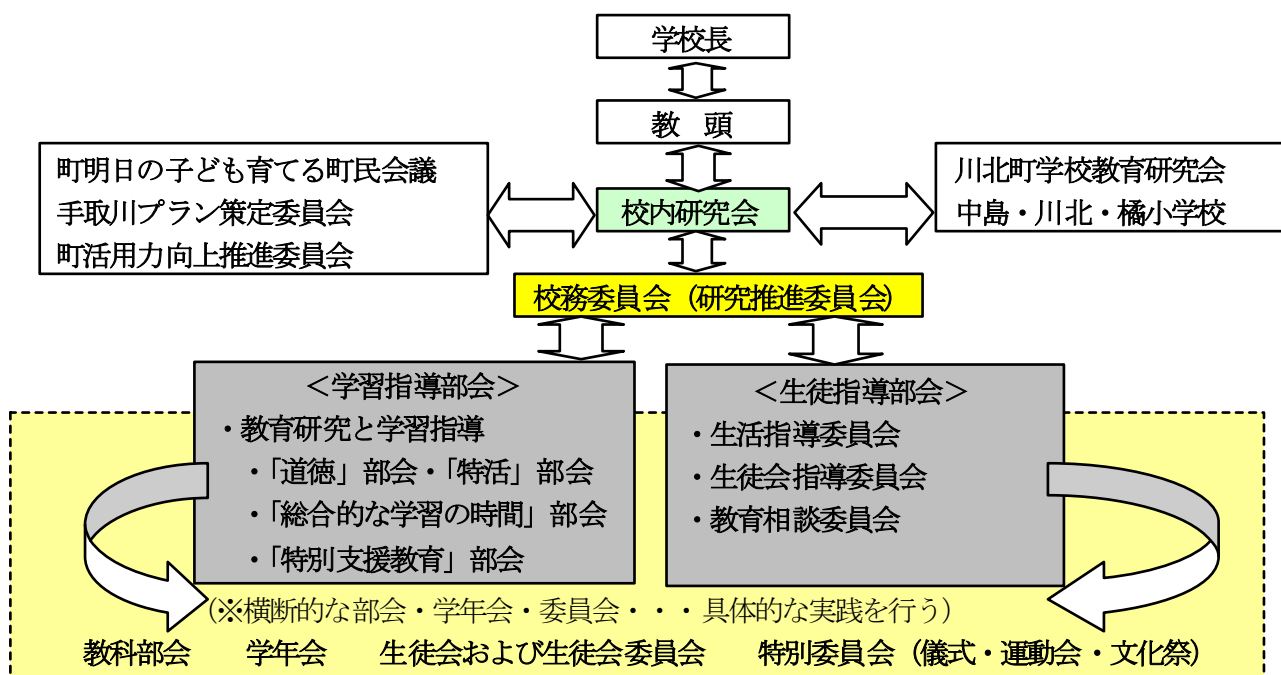
生徒の実態

- ・テストにおける習熟の差の拡大
- ・受動的な学習態度と学習内容の定着不足
- ・「表現力」が豊かでない
- ・粘り強くとりくむことが苦手

「自らとりくむ」ためには、生徒一人ひとりの「関心・意欲・態度」を育てる必要がある

(3) 平成20年度校内研究計画について

＜研究体制＞ 恒常的に本校の教育目標の達成を目指すために、「校務分掌」運営組織を「校内研究」の体制として利用する。



<委員会・部会のねらいと今年度の具体的な課題>

<委員会・部会のねらいと今年度の具体的な課題>

■校務委員会（研究推進委員会）■

【ねらい】－ “一人ひとりに『生きる力』をつけ、地域から信頼される学校を作る”

- ・ 研究主任 研究全体の計画、調整など
 「関心、意欲、態度を育てる」ための実践計画
- ・ 教務主任 指導体制の工夫、評価活動の工夫、「学力定着」の実態把握
- ・ 教頭 出会いふれあい感動授業の計画
 情報の発信と受信

■学習指導部会■

・各教科部会

【ねらい】－ 「確かな学力の向上」

- ① 活用力向上させるために関心・意欲を高める授業の工夫
- ② 少人数指導を中心とした個に応じた指導の工夫
- ③ 基礎・基本の定着、繰り返し指導の工夫
- ④ 実験・体験・操作活動の工夫

- ・ 「道徳」部会
- ・ 「特別活動」部会
- ・ 「総合的な学習の時間」部会
- ・ 「特別支援教育」部会

【ねらい】－ 「豊かな心の育成」

- ① 「道徳」「特別活動」の充実
 - ・ 年3回の研究授業の実践、性教育・キャリア教育の計画と推進
- ② 「総合的な学習の時間」の工夫
 - ・ 連携を利用して活動を高める発信
- ③ 学年・学級活動の工夫
 - ・ 集団の力を高める指導と支援
- ④ 読書活動の推進
 - ・ 1／2年を通じた継続した読書習慣の定着の工夫
- ⑤ 特別支援教育の充実
 - ・ 特別支援の研修を深め、実態を把握した上での指導・支援の工夫

■生徒指導部会■

【ねらい】－ 「充実した生徒指導」

- ① 生活の基礎基本の定着
 - ・ 「チェックアップ大作戦」、生活アンケート、QJ、人間関係づくり
- ② 生徒会活動の充実
 - ・ 主体的/自主的な活動の育成、学年/学級活動の推進
- ③ 教育相談活動の充実
 - ・ 教育相談委員会、スクールカウンセラーとの連携、
いじめに対する早期発見/早期対応
- ④ 認め、励ます指導

(4) 各教科の「めざす授業」について

【国語科】

(学んだ知識や言語能力) を使って (題材) を楽しむ生徒を育てる授業をめざしたい

学ぶ意欲・表現力

◇日頃の授業の中で・・・

①関心・意欲・態度を育てる

- ・単元や授業の導入を工夫し興味関心を高める
- ・他の人の作品や感想などを紹介し、学習意欲を高める
- ・授業で扱った教材の類似作品や関連する作品を紹介しながら文学に親しむ気持ちを育てる

②話す力・聞く力をつける

- ・2人ー3人ー4人と人数を増やしながら、話し相手を徐々に増やしながら、話をするに対する抵抗感をなくする場面を設ける
- ・メモを取ることを意識しながら、話を聞いたり、原稿を読むのではなく、メモをもとに話しをしたりすることができるようにする

③書く力をつける

- ・読み物の内容を理解し、自分の言葉でまとめる練習をする (ミニ読書など)
- ・ワークシートや作文などを書く時間を設け自己表現力を高める
- ・作文の文章の書き方を参考にし、自分の表現力を高める手だてとする

④読む力をつける

- ・文学的文章や説明的文章などを日常的に読む機会を多く設定する
- ・音読の機会を多く設け、言葉のもつ響きや大切さを感じさせる
- ・作品を読み比べながら、ものの見方・考え方を広げていく

⑤語彙力をつける

- ・言語事項について日常的に反復練習させる
- ・漢字文法などの小テストの機会を多く設ける
- ・グループ活動など授業形態の工夫をする

◇朝自習・家庭学習で・・・

- ・読書を習慣化する
(新聞記事・ミニ読書・本の貸し出し)
- ・宿題を日常的に出す (音読・小テストなど)